

ハマゼリ

セリ科

Cnidium japonicum Miq.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草。草丈は10～50cm。茎は根元から多数に分枝して斜めに立つ。葉は羽状複生で、上部の小葉が3裂、下部の葉が5裂する。花期は8～10月で、複散形花序を出し、白い花をつける。

【分布の状況】

市内 市内では、海岸地帯の岩場で確認されている。

その他 国内全域の海岸に分布する。

【減少等の原因】

一般開発



撮影：市域外
写真提供：青木 繁伸

カラタチバナ

ヤブコウジ科

Ardisia crispa (Thunb.) DC.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少、採取、局限・孤立、分布限界

【形態など】

常緑小低木。樹高は20～100cm。茎は直立し、通常枝分かれをしない。葉は互生し、狭卵形で、長さは8～20cm、表面には光沢がある。花期は6～7月で、葉腋または鱗片葉の腋に花序がつくとともに、径7～8mmで白い5弁の花が10個程度つく。

【分布の状況】

市内 市内では、丘陵で確認されている。

その他 本州（茨城県、新潟県以西）、四国、九州、沖縄県に分布する。

【減少等の原因】

採取、森林の改変



撮影：市内
写真提供：石澤 進

ハイハマボッサ

サクラソウ科

Samolus parviflorus Rafin.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 準絶滅危惧
-------	---------------	---------------	--------------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草。草丈は10～30cm。茎は細く、上部は分枝する。葉は倒卵形で、長さは2～6cm、全体的に無毛である。花期は6～8月で、茎の先が分枝してまばらに総状花序を出し、小花柄の先に小さな白い花をつける。

【分布の状況】

市内 市内では、山地や丘陵で確認されている。

その他 北海道、本州（兵庫県、山口県以北）に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少



撮影：市域内
写真提供：刈屋 寿

アケボノソウ

リンドウ科

Swertia bimaculata (Sieb. et Zucc.) Hook.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 —	環境省 —
-------	---------------	----------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

二年草。草丈は60～80cm。葉は対生し、縦に3本の主脈が目立つ。葉身は卵形から披針形で、長さは5～12cm、葉先は鋭尖頭である。花期は9～10月で、茎頂や葉腋から花柄を出し、直径2cm程度の白い花をつける。花冠は5深裂で、裂片の先には緑色を帯びた2個の円状の蜜腺と黒紫色の斑点がある。

【分布の状況】

市内 市内では、山地で確認されている。

その他 北海道、本州、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少、一般開発



撮影：市域内
写真提供：刈屋 寿

ホタルカズラ

ムラサキ科

Lithospermum zollingeri A. DC.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少, 採取

【形態など】

多年草。草丈は15~25cm。茎は細く、開出した粗い毛がある。葉は互生し、葉身は狭楕円形~広倒披針形、長さは5cm程度、先端は鋭頭、基部も鋭形、濃緑色で表面に剛毛があり、辺縁は全縁である。花期は4~5月で、上部の葉腋に青紫色の花をつける。花冠は5裂し、各裂片の中央には縦の白色の隆起がある。



撮影：市域内
写真提供：刘屋 寿

【分布の状況】

市内 市内では、山地で確認されている。

その他 北海道, 本州, 四国, 九州, 沖縄県に分布する。

【減少等の原因】

採取, 観光開発

アブノメ

ゴマノハグサ科

Dopatrium junceum (Roxb.) Buch.-Hamil. ex Benth.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少, 環境悪化, 希少

【形態など】

一年草, 抽水~湿生植物。草丈は10~20cm。葉は茎に対生し、長楕円形で、下部の葉は比較的大きく、上部へ行くに従い小さくなる。花期は8~9月で、上部の葉腋に1個ずつ淡紫色の唇形花をつける。上部が正常花である一方、下部が柄のない閉鎖花である。

【分布の状況】

市内 市内では、水田地帯で確認されている。

その他 本州, 四国, 九州, 沖縄県に分布する。

【減少等の原因】

農地の改変, 農薬使用, 水質汚濁



撮影：市域内
写真提供：(全体) 久原 泰雅
(拡大) 石澤 進

オオアブノメ

ゴマノハグサ科

Gratiola japonica Miq.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 絶滅危惧Ⅱ類
-------	---------------	---------------	---------------

【選定理由】

減少

【形態など】

一年草。草丈は10～20cm。茎は肉質で柔らかく、直立する。葉は対生し、長さは1～3cm、無柄。葉身は披針形、先端は鈍頭、辺縁には鋸歯がなく、無毛、基部は少し茎を抱く。花期は5～6月で、上部の葉腋に1個ずつ花をつける。多くは花冠が開かない閉鎖花で、がくは5深裂する。通常花の花冠は白色、短い筒型で、5裂してやや2唇形となる。



撮影：市域内
写真提供：石澤 進

【分布の状況】

市内 市内では、河川の止水域で確認されている。

その他 本州（宮城県以南）、九州に分布する。

【減少等の原因】

農地の改変、農薬使用、水質汚濁

ヒキヨモギ

ゴマノハグサ科

Siphonostegia chinensis Benth. ex Hook. et Arm.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 —	環境省 —
-------	---------------	----------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

一年草。草丈は30～70cm。茎は直立し、上部で分枝する。葉はほぼ対生し、長さは1.5～5cm。葉身は卵形、羽状に深裂し、下方の裂片はさらに少数の裂片に裂け、基部は狭いくさび状の翼がある柄となる。花期は8～9月で、上部の枝先の葉腋に1個ずつ鮮黄色の花をつける。がくは細い筒形で、先が5裂する。



撮影：市域内
写真提供：刈屋 寿

【分布の状況】

市内 市内では、海岸付近で確認されている。

その他 北海道、本州、四国、九州、沖縄県に分布する。

【減少等の原因】

草地の減少、一般開発

オオナンバンギセル

ハマウツボ科

Aeginetia sinensis G. Beck

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 —	環境省 —
-------	---------------	----------	----------

【選定理由】

希少

【形態など】

一年草，寄生植物。ススキなどの根に寄生する。小型の葉がさやのようになってつく。花期は8～9月で，淡紅紫色の花をつける。がくは横から見ると楕円形で，先端は鈍頭，花冠裂の辺縁には細かい歯牙がある。

【分布の状況】

市内 市内では，山地や丘陵で確認されている。

その他 本州，四国，九州に分布する。

【減少等の原因】

草地の減少

【特記事項】

佐渡弥彦米山国定公園特別地域内指定植物



撮影：市域内
写真提供：久原 泰雅

ハマウツボ

ハマウツボ科

Orobanche coerulescens Stephan ex Wild.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 絶滅危惧Ⅱ類
-------	---------------	---------------	---------------

【選定理由】

減少

【形態など】

一年草，寄生植物。カワラヨモギに寄生する。草丈は15～30cm。茎は黄褐色で太く，やや薄い鱗片葉がまばらに茎につき，全体に長い白毛が密生する。茎の基部は太くなって葉の変形した鱗片に覆われる。花期は5～7月で，上部鱗片葉の葉腋から花茎を伸ばし，淡紫色の花をつける。花冠は長さ約2cmで上下唇に分かれ，白い軟毛で覆われる。

【分布の状況】

市内 市内では，海岸砂丘で確認されている。

その他 本州，四国，九州，沖縄県に分布する。

【減少等の原因】

人の立入，観光開発

【特記事項】

佐渡弥彦米山国定公園特別地域内指定植物



撮影：市域内
写真提供：刈屋 寿

キヨスミウツボ

ハマウツボ科

Phacellanthus tubiflorus Sieb. et Zucc.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少，希少

【形態など】

多年草，寄生植物。カシ類の根に寄生することが多い。草丈は5～10cm。株元から多くの茎が分かれて直立する。葉は鱗片状で卵形，直立して重なり合う。花期は5～7月で，茎頂に5～10個束生し，はじめ白色で後に黄色に変わる花をつける。花冠は2唇形で，細長い筒状で斜上し，下唇が3裂する。

【分布の状況】

市内 市内では，岩室地区で確認されている。

その他 北海道，本州，四国，九州に分布する。

【減少等の原因】

森林の改変

【特記事項】

佐渡弥彦米山国定公園特別地域内指定植物



撮影：市内
写真提供：石澤 進

イヌタヌキモ

タヌキモ科

Utricularia australis R. Br.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 準絶滅危惧
-------	---------------	---------------	--------------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草，浮葉植物。草丈は約100cm（ただし，県内産で30cmを超えるものは稀）。葉の一部に捕虫囊を形成する。水中葉は羽状に細裂し，裂片は一平面に配列する。花期は7～9月で，花茎先端に濃黄色の花を4～10個つける。

【分布の状況】

市内 市内では，湖沼で確認されている。

その他 北海道，本州，四国，九州，沖縄県に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少，農地の改変，農薬使用，水質汚濁



撮影：市内
写真提供：新潟市

タヌキモ

タヌキモ科

Utricularia vulgaris L. var. *japonica* (Makino) Tamura

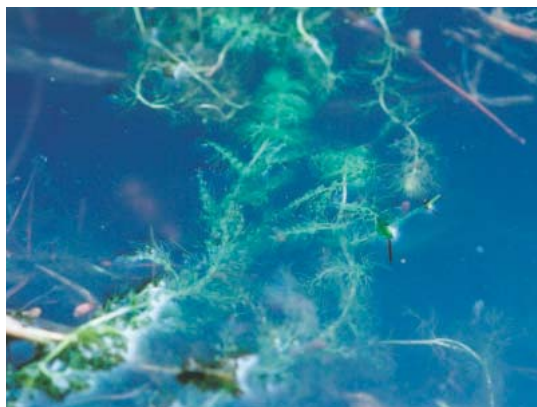
カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 準絶滅危惧
-------	---------------	---------------	--------------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草、浮葉植物。葉は互生し、基部で2分枝し、さらに3～4回羽状に分裂、各裂片は細い糸状で、多くの捕虫囊がつく。花期は7～9月で、花茎を水面上に直立させ、頂部に2～15個の黄色の唇形花をつける。ただし、国内では確かな結実例はなく、殖芽（越冬芽）により無性的に繁殖するとされる。



撮影：市域内
写真提供：登坂 裕一

【分布の状況】

市内 市内では、池沼で確認されている。

その他 北海道、本州、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少、農地の改変、農薬使用、水質汚濁

ノニガナ

キク科

Ixeris polycephala Cass.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

一年草または越年草。草丈は10～50cm。茎は直立し、全体に無毛である。葉は緑白色の線状披針形で、葉の基部がやじり形で茎を抱く。根生葉は羽状に切れ込みがある。花期は4～5月で、茎先に散房状に黄色の頭花をつける。



【分布の状況】

市内 市内では、水田地帯で確認されている。

その他 本州、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

草地の減少、河川の改変、一般開発



撮影：市域外
写真提供：石澤 進

サジオモダカ

オモダカ科

Alisma plantago-aquatica L. var. *orientale* Samuels.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 —	環境省 —
-------	---------------	----------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草，抽水植物。草丈は40～80cm。葉は根生し，長い葉柄がある。先端が尖ったさじ形となり，縦横がほぼ2：1の楕円形である。花期は6～8月で，多分枝した大きな花茎を直立させ，3弁で卵円形の白い花を多数つける。

【分布の状況】

市内 市内では，河川の止水域で確認されている。

その他 北海道，本州（中部地方以北）に分布する。

【減少等の原因】

農地の改変



撮影：市域内
写真提供：石澤 進

クロモ

トチカガミ科

Hydrilla verticillata (L. fil.) Caspary

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草，沈水植物。草丈は30～60cm。葉は線状披針形で，3～6枚が輪生する。流水中では緑色であるが，静水中では暗緑色である。花期は8～10月で，雌雄異株であり，雄花は成熟すると植物体を離れ，水面に浮かんで開花する。雌花は葉腋から1つずつ柄を伸ばし，水上で咲く。

【分布の状況】

市内 市内では，河川，湖沼，池沼，水田地帯などで確認されている。

その他 北海道，本州，四国，九州，沖縄県に分布する。



撮影：市域内
写真提供：狩野 裕章

【減少等の原因】

水湿地の減少，河川の改変，農地の改変，農薬使用，水質汚濁

トチカガミ

トチカガミ科

Hydrocharis dubia (Bl.) Backer

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 準絶滅危惧
-------	---------------	---------------	--------------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草、浮葉植物。葉身は円形で、長さは4～7cm、基部は心形である。下面には海綿状気泡があり、水面に浮く。匍匐茎の節からひげ根、葉、花柄が出る。花期は8～10月で、雌雄異株であり、白い3弁の雄花と雌花をそれぞれつける。

【分布の状況】

市内 市内では、池沼や用水路などで確認されている。

その他 本州、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少、農地の改変、農薬使用、水質汚濁



撮影：市域内
写真提供：狩野 裕章

ミズオオバコ

トチカガミ科

Ottelia alismoides (L.) Pers.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 準絶滅危惧	環境省 絶滅危惧Ⅱ類
-------	---------------	--------------	---------------

【選定理由】

減少

【形態など】

一年草、沈水植物。草丈は10～30cm。葉は有柄で根生し、長さは9～25cm。葉身は披針形～広卵形または円心形。膜質で、微細な鋸歯がある。花期は8～10月で、花茎の先端に3弁で桃白色の花が水面上で開く。

【分布の状況】

市内 市内では、用水路などで確認されている。

その他 北海道、本州、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少、農地の改変、農薬使用、水質汚濁



撮影：市域内
写真提供：久原 泰雅

コウガイモ

トチカガミ科

Vallisneria denseserrulata (Makino) Makino

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草，沈水植物。茎は短く，葉を束生し，刺がある走出枝を出す。栄養的に繁殖する葉は根生し，線形で長さ80cmに達し，鈍頭で縁に鋸歯がある。花期は8～10月で，雌雄異株である。雌株では長い柄の先に小さい雌花がつき，水面に浮かぶ。雄株では水中に雄花ができ，花柄が切れて水面に浮き上がる。

【分布の状況】

市内 市内では，河川や用水路などで確認されている。

その他 本州，九州に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少，河川の改変，農地の改変，農薬使用，水質汚濁



撮影：市域内
写真提供：石澤 進

アイノコヒルムシロ

ヒルムシロ科

Potamogeton malainoides Miki

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 —	環境省 —
-------	---------------	----------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

ヒルムシロ (*P. distinctus*) とササバモ (*P. malaianus*) の交雑種で，滋賀県や愛媛県および台湾で報告がある。沈水葉はササバモ的であるが浮葉を形成する。ササバモの浮葉型と混同されていた可能性もある。

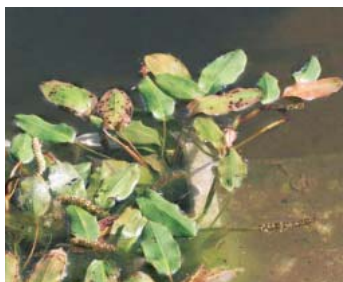
【分布の状況】

市内 市内では，水田地帯で確認されている。

その他 本州，四国，九州，沖縄県に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少，農地の改変，農薬使用，水質汚濁



撮影：市域外
写真撮影：青木 繁伸

ヒメオヒルムシロ

ヒルムシロ科

Potamogeton yamagataensis Kadono & Wiegleb

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 —	環境省 —
-------	---------------	----------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

浮葉植物。水中茎は長さ100cm以上に達して流れになびく。沈水葉は線形で、先端は鈍頭で3脈。浮葉は葉柄があり、葉身は披針形～長楕円形である。花は稀にしか咲かず、花粉は不定形で結実しない。オヒルムシロ (*P. natans*) とホソバミズヒキモ (*P. octandrum*) の交雑種と推定されている。



撮影：市域外
写真撮影：石澤 進

【分布の状況】

市内 市内では、水田地帯や河川付近で確認されている。

その他 本州（秋田県から新潟県にかけた日本海側，福島県）に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少，河川の改変，農地の改変，農薬使用，水質汚濁

ヒメイズイ

ユリ科

Polygonatum humile Fischer

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草。草丈は8～30cm。葉は互生し、長さは4～7cm，長楕円形から広楕円形で鈍頭である。縁や下面脈上に小突起がある。表裏同色で葉裏は白くならない。花期は6～7月で、葉腋から鐘状で緑白色の小さな花を1つ垂下する。



撮影：市域内
写真提供：刈屋 寿

【分布の状況】

市内 市内では、池沼や草原などで確認されている。

その他 北海道，本州（中部地方以北），九州に分布する。

【減少等の原因】

草地の減少

ミズアオイ

ミズアオイ科

Monochoria korsakowii Regel et Maack

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 準絶滅危惧
-------	---------------	---------------	--------------

【選定理由】

減少

【形態など】

一年草，抽水植物。草丈は20～50cm。葉は根生または茎上に互生し，葉身は心形で先端が鋭尖頭である。葉色は深緑色で光沢がある。花期は7～10月で，茎頂に総状花序を出し，6弁で青紫色の花を多数つける。

【分布の状況】

市内 市内では，河川や湖沼で確認されている。

その他 北海道，本州，四国，九州に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少，河川の改変，農地の改変，農薬使用，水質汚濁



撮影：市域内
写真提供：(全体) 石澤 進
(花) 久原 泰雅

カキツバタ

アヤメ科

Iris laevigata Fisch.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 準絶滅危惧
-------	---------------	---------------	--------------

【選定理由】

減少，採取

【形態など】

多年草，湿生植物。草丈は50～70cm。葉は剣状広線形で，長さは30～70cm，先は尖り，葉の中脈が目立たない。花期は5～6月で，茎の先端に鞘状の苞をつけ，その中に青紫色の花を2～3個つける。

【分布の状況】

市内 市内では，湖沼付近や湿地帯で確認されている。

その他 北海道，本州，四国，九州に分布する。

【減少等の原因】

採取，水湿地の減少，農地の改変，観光開発

【特記事項】

佐渡弥彦米山国定公園特別地域内指定植物



撮影：市域内
写真提供：新潟市

アイアシ

イネ科

Phacelurus latifolius (Steud.) Ohwi

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草。草丈は150cm。地下茎は横走り、茎は多節である。葉は広線形の厚質で、長さは20～40cm、基部が鞘状である。花期は6～10月で、茎の先に掌状に並んだ5～10個の穂状花序を出し、紫色を帯びる。小穂が無毛、無芒であり、ススキやヨシとの区別点となる。

【分布の状況】

市内 市内では、海岸で確認されている。

その他 北海道、本州、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

草地の減少、観光開発



撮影：市域内
写真提供：刘屋 寿

シラスゲ

カヤツリグサ科

Carex doniana Spreng.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 地域個体群	環境省 —
-------	---------------	--------------	----------

【選定理由】

希少

【形態など】

多年草。草丈は30～60cm。葉は広線形で、先は尖る。下面は粉白色で、細長い匍匐枝がある。花期は4～6月で、花茎に4～6個の小穂がつく。小穂は円柱状で、頂小穂が雄性、側小穂が雌性で、小花を密につける。

【分布の状況】

市内 市内では、山地や海岸林内で確認されている。

その他 北海道、本州、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

一般開発



撮影：市域内
写真提供：石澤 進

【選定種解説】
維管束植物

ミコシガヤ

カヤツリグサ科

Carex neurocarpa Maxim.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草。草丈は30～60cm。全体に錆色の斑点がある。根茎は短く、茎が叢生する。葉は細く、茎の下部につく。花期は6～7月で、淡赤褐色を帯びる球形の小穂を密につける。小穂は頂部の少数の雄花と下部の多数の雌花からなる。

【分布の状況】

市内 市内では、河川付近で確認されている。

その他 近畿以北の本州に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少，観光開発



撮影：市域内
写真提供：刈屋 寿

オニナルコスゲ

カヤツリグサ科

Carex vesicaria L.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草。草丈は30～90cm。叢生して長い地下茎がある。小穂は4～8個あり、頂端にある2～3個の小穂が雄小穂で線形，下方の1～3個の小穂が雌小穂で柱状となる。

【分布の状況】

市内 市内では、河川付近で確認されている。

その他 北海道，本州（中部地方以北），九州に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少，農地の改変



撮影：市域内
写真提供：刈屋 寿

ビロードテンツキ

カヤツリグサ科

Fimbristylis sericea (Poir.) R. Br.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少，分布限界

【形態など】

多年草。草丈は10～30cm。葉は根元に集まってつき、茎より短く線形である。葉や花茎がビロード状の細やかな毛に覆われている。花期は8～10月で、茎の先に3～10個の灰褐色卵形の小穂をつける。小穂は狭卵形、鋭頭でやや角張り、灰褐色である。



撮影：市域内
写真提供：石澤 進

【分布の状況】

市内 市内では、海岸砂丘で確認されている。

その他 太平洋側は茨城県以西，日本海側は新潟県以西の本州，四国，九州に分布する。

【減少等の原因】

観光開発

エビネ

ラン科

Calanthe discolor Lindl.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 準絶滅危惧
-------	---------------	---------------	--------------

【選定理由】

減少，採取

【形態など】

多年草。草丈は30～45cm。茎の基部がふくらみ、球状の偽球茎となって連なり、1年に1個ずつ増える。葉は茎の基部から2～3枚出る。花期は4～5月で、茎の上部にややまばらに8～15個の花をつける。



撮影：市域内
写真提供：刈屋 寿

【分布の状況】

市内 市内では、山地，丘陵で確認されている。

その他 北海道（西南部），本州，四国，九州，沖縄県に分布する。

【減少等の原因】

採取，森林の改変

【特記事項】

佐渡弥彦米山国定公園特別地域内指定植物

キンラン

ラン科

Cephalanthera falcata (Thunb.) Bl.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 絶滅危惧Ⅱ類
-------	---------------	---------------	---------------

【選定理由】

減少, 採取

【形態など】

多年草。草丈は30～70cm。茎は直立し、稜線がある。葉は5～8枚が互生し、縦に粗いひだがあり、先は鋭くとがり、基部は茎を抱く。花期は4～6月で、茎の先に黄色の花を上向きに3～12個つける。

【分布の状況】

市内 市内では、丘陵で確認されている。

その他 本州、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

採取, 森林の改変

【特記事項】

佐渡弥彦米山国定公園特別地域内指定植物



撮影：市内
写真提供：石澤 進

ホクリクムヨウラン

ラン科

Lecanorchis hokurikuensis Masam.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草、腐生植物。地下茎は木質で硬く、はじめ下を向き、すぐ反転して屈曲しながらまばらに分枝し、地表近くまで伸びる。地上茎は直立し、淡褐色で、4～6個の鱗片葉を互生する。花期は5～6月で、茎の先端部に総状花序を出し、紫色の花を数個つける。

【分布の状況】

市内 市内では、丘陵で確認されている。

その他 本州（北陸地方、東北地方南部）に分布する。

【減少等の原因】

森林の改変, 農地の改変, 観光開発



撮影：市内
写真提供：久原 泰雅

ヒトツボクロ

ラン科

Tipularia japonica Matsum.

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 —
-------	---------------	---------------	----------

【選定理由】

減少, 採取

【形態など】

常緑の多年草。草丈は15~30cm。球状に肥厚した偽球茎から、1枚の葉と花茎を出す。葉身は卵状楕円形で、長さは3.5~7cm、表面が光沢のある深緑色、裏面が紫色となる。花期は5~6月で、茎の先に淡黄緑色の小さな花を5~10個まばらにつける。

【分布の状況】

市内 市内では、山地や丘陵で確認されている。

その他 本州、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

採取, 森林の改変, 農地の改変



撮影：市域内
写真提供：平 慎三

【特記事項】

佐渡弥彦米山国定公園特別地域内指定植物

イヌドクサ

トクサ科

Equisetum ramosissimum Desf.

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 準絶滅危惧	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

常緑性シダ。地下茎は地中を匍匐し、地上茎は直立する。茎には節があり、輪生する枝を出す。孢子囊穂は茎の先端部につけ、はじめは緑褐色だが、成熟すると淡褐色~黄色となる。

【分布の状況】

市内 市内では、海岸砂丘で確認されている。

その他 本州、四国、九州、沖縄県に分布する。

【減少等の原因】

一般開発



撮影：市域内
写真提供：登坂 裕一

【選定種解説】
維管束植物

ウラジロ

ウラジロ科

Gleichenia japonica Spreng.

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 準絶滅危惧	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

減少，分布限界

【形態など】

常緑性シダ。暖地では高さ2mを超す。根茎は地中を長く匍匐する。葉柄は緑色で滑らか，葉は羽状に分岐し，羽片が紙質で，裏面は白い。胞子囊群は中肋と辺縁の中間に1列に並ぶ。

【分布の状況】

市内 市内では，山地や丘陵で確認されている。

その他 本州（山形県，新潟県及び福島県以南），四国，九州，沖縄県に分布する。

【減少等の原因】

森林の改変，一般開発



撮影：市域内
写真提供：刈屋 寿

ミズワラビ

ホウライシダ科

Ceratopteris thalictroides (L.) Brongn.

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 準絶滅危惧	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

環境悪化，分布限界

【形態など】

浅い水中または湿地に生える一年生シダ。栄養葉は叢生し，2～3回羽状深裂。胞子葉は高く立ち，細かく切れ込む。胞子囊群は線状の裂片にあり，長く伸びる。

【分布の状況】

市内 市内では，主に休耕田で確認されている。

その他 本州（新潟県，関東地方以西），四国，九州，沖縄県に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少，農地の改変，農薬使用



撮影：市域内
写真提供：川端 義一

オオバノハチジョウシダ

イノモトソウ科

Pteris excelsa Gaudich.

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 準絶滅危惧	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

常緑性シダ。葉は大きく2mに達する。葉柄は太く薄緑色から暗紫色。葉身は2回羽状全裂，長楕円状卵形，光沢の少ない黄緑色～緑色の厚い紙質である。側羽片の前・後側が共に切れ込み，先端は尾状になる。孢子嚢群は葉の縁に沿ってつく。

【分布の状況】

市内 市内では，丘陵で確認されている。

その他 本州（秋田県以南），四国，九州に分布する。

【減少等の原因】

森林の改変



撮影：市域内
写真提供：登坂 裕一

ツルデンダ

オシダ科

Polystichum craspedosorum (Maxim.) Diels

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 準絶滅危惧	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

減少，局限・孤立

【形態など】

やや湿った岩上に生える常緑性シダ。葉柄は葉身よりはるかに短く，鱗片をやや密につける。葉身は線状披針形の単羽状複生，光沢のない鮮緑色の柔らかい紙質。先端につく無性芽で殖え，群生する。孢子嚢群は羽片の辺縁寄りに1列に並んでつく。

【分布の状況】

市内 市内では，丘陵で確認されている。

その他 北海道から九州に広く分布する。

【減少等の原因】

一般開発



撮影：市域内
写真提供：登坂 裕一

オオミスミソウ

キンポウゲ科

Hepatica nobilis Schreb. var. *japonica* Nakai f. *magna* (M. Hiroe) Kitam.

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 地域個体群	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

採取，局限・孤立

【形態など】

多年草。葉は3つの裂片葉からなり，全体的に三角形をしている。花期は3～4月である。日本に分布する種は，ヨーロッパ産の変種や品種に位置づけられ，それらの中で花や葉が大きく，花の色が変化に富む。

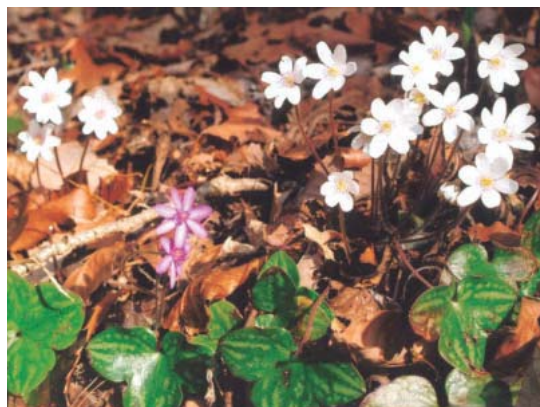
【分布の状況】

市内 市内では，山地で確認されている。

その他 新潟県などの本州日本海側に分布する。

【減少等の原因】

人の立入，採取，その他



撮影：市内
写真提供：刈屋 寿

【特記事項】

佐渡弥彦米山国定公園特別地域内指定植物
雪割草とも呼ばれている。

コシノカンアオイ

ウマノスズクサ科

Heterotropa megacalyx F. Maek.

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 準絶滅危惧	環境省 準絶滅危惧
-------	--------------	--------------	--------------

【選定理由】

採取，模式産地

【形態など】

多年草。葉は表面に光沢があり，ハート形をして厚みがある。花期は4～6月であり，つり鐘状で淡暗紫色の花をつける。花の先は3裂し，それぞれの裂片は三角形をしている。

【分布の状況】

市内 市内では，山地や丘陵で確認されている。

その他 長野県北部または福井県から山形県にかけての日本海側に分布する。

【減少等の原因】

採取，森林の改変，観光開発



撮影：市内
写真提供：刈屋 寿

【特記事項】

佐渡弥彦米山国定公園特別地域内指定植物

ハマハタザオ

アブラナ科

Arabis stelleri DC.

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 —	環境省 —
-------	--------------	----------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

越年草。草丈は20～50cm。茎には白い単毛と2分毛がある。根生葉はへら形で、低鋸歯縁である。茎葉は長楕円状卵形で、厚く、基部は茎を抱く。花期は4～6月で、茎頂の総状花序に白い花をつける。

【分布の状況】

市内 市内では、海岸砂丘で確認されている。

その他 北海道、本州、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

人の立入、一般開発



撮影：市域内
写真提供：刈屋 寿

マルバハギ

マメ科

Lespedeza cyrtobotrya Miq.

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 準絶滅危惧	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

落葉低木。樹高は1～3m。葉は3出複生で互生。頂小葉は倒卵形または長円形で、長さは2～3cm、幅は1.5～2.5cmである。小葉は表面が緑色、裏面が灰白色で、全面に毛がある。葉縁は全縁で、葉先が凹む。花期は8～10月で、葉腋に基部の葉より短い総状花序を出し、紫紅色の花をつける。

【分布の状況】

市内 市内では、丘陵で確認されている。

その他 本州、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

草地の減少



撮影：市域内
写真提供：石澤 進

ニシキギ

ニシキギ科

Euonymus alatus (Thunb.) Sieb.

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 準絶滅危惧	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

減少, 採取

【形態など】

落葉低木。樹高は1～3m。葉は楕円形で先は尖り、基部はくさび型である。茎にコルク質の翼が発達する。花期は5～6月で、葉腋から集散花序を出し、淡黄緑色の花をつける。

【分布の状況】

市内 市内では、海岸林内や農村集落付近で確認されているが、それらのほとんどが植栽である。

その他 北海道、本州、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

採取



撮影：市域内
写真提供：笹川 通博

テリハタチツボスミレ

スミレ科

Viola faurieana W. Becker

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 —	環境省 —
-------	--------------	----------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草。草丈は20cm程度。地下茎は木化して肥厚し、よく分枝する。葉は鈍三角形で、長さは2～3cm、先が鋭く尖る。葉の縁には低いまばらな鋸歯があり、深緑色で、光沢がある。托葉は幅の狭い裂片に深く羽裂する。花期は5月頃で、淡紫色の花をつける。

【分布の状況】

市内 市内では、山地で確認されている。

その他 本州北部の日本海側に分布する。

【減少等の原因】

森林の改変, 一般開発



撮影：市域内
写真提供：刈屋 寿

【特記事項】

佐渡弥彦米山国定公園特別地域内指定植物

ホタルサイコ

セリ科

Bupleurum longiradiatum Turcz. var. *breviradiatum* F. Schmidt

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 準絶滅危惧	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

夏緑性の多年草。草丈は50～150cm。葉は長楕円形で、長さは5～15cm、5～6枚根生する。根出葉には長い柄があり、茎葉は長く、基部は広がって茎を抱く。花期は7～9月で、茎頂と葉腋から複散形花序を出し、小さな黄色い花を多数つける。

【分布の状況】

市内 市内では、山地で確認されている。

その他 本州、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

森林の改変、水湿地の減少、一般開発



撮影：市域内
写真撮影：刈屋 寿

スナビキソウ

ムラサキ科

Argusia sibirica (L.) Dandy

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 準絶滅危惧	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草。草丈は25～30cm。長い地下茎があり、よく分枝し、密に圧毛がある。葉は互生し、長さは2.5～6cm、無柄である。葉身はへら状で、両面に圧毛がある。花期は6～8月で枝の上部に短い集散花序を出し、白い花を群がるようにつける。

【分布の状況】

市内 市内では、海岸で確認されている。

その他 北海道、本州、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

観光開発



撮影：市域内
写真提供：(全体)川端 義一
(拡大)登坂 裕一

【選定種解説】
維管束植物

ミズユキノシタ

アカバナ科

Ludwigia ovalis Miq.

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 —	環境省 —
-------	--------------	----------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草。草丈は30cm。湿生植物とされるが、ときどき沈水状態になる。茎は地上を這い、上部は斜上する。葉は互生し、短い柄があり、広卵形である。葉色は黄緑色を呈する。花期は7～10月で、葉腋に花弁のない2mm程度の花をつける。

【分布の状況】

市内 市内では、河川付近や湿地で確認されている。

その他 北海道、本州、四国、九州、沖縄県に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少、農地の改変



撮影：市域内
写真提供：石澤 進

ハマゴウ

クマツヅラ科

Vitex rotundifolia L. fil.

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 準絶滅危惧	環境省 —
-------	--------------	--------------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

落葉低木。樹高は30～60cm。茎は地中を這うように縦横に伸び、根を出して繁殖する。葉は単葉で対生し、広卵形から楕円形で波打ち、長さは2～5cm、上面は白緑色で、下面は白色軟毛に覆われ芳香がある。花期は8～10月で、枝先に円錐花序を出し、小さな紫色の花を多数つける。

【分布の状況】

市内 市内では、海岸で確認されている。

その他 本州、四国、九州、沖縄県に分布する。

【減少等の原因】

観光開発



撮影：市域内
写真提供：川端 義一

アワゴケ

アワゴケ科

Callitriche japonica Englemann ex Hegelmaier

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 —	環境省 —
-------	--------------	----------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

一年草。茎は下部で分枝し、所々で根を出す。葉は対生し、長さは0.2～0.5cm、倒卵形で、全縁である。3行脈で中央の脈は明瞭だが、残りの脈は不明瞭である。花期は4～6月。雌雄同株で、葉腋ごとに雄花か雌花のいずれか、あるいは両方1個ずつつく。雄花も雌花も黄緑色で小さい。

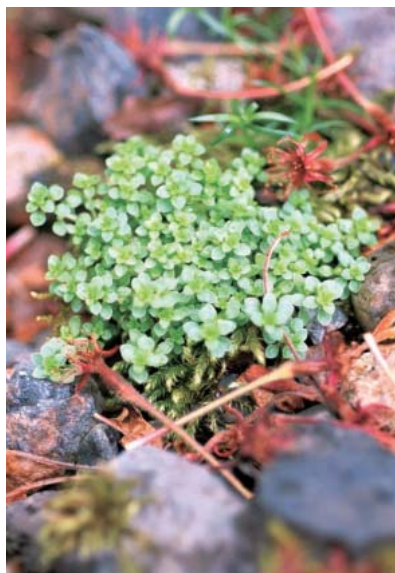
【分布の状況】

市内 市内では、山地や丘陵で確認されている。

その他 本州（関東地方以西）、四国、九州、沖縄県に分布する。

【減少等の原因】

一般開発



撮影：市域内
写真提供：久原 泰雅

サウトウガラシ

ゴマノハグサ科

Deinostema violaceum (Maxim.) Yamazaki

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 —	環境省 —
-------	--------------	----------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

一年草、湿生植物。草丈は5～20cm。葉は線状披針形で、長さは0.5～1cm、先が尖る。花期は8～10月で、上部の葉腋に紅紫色の正常花をつける。花冠は2唇形で、下唇の中央裂片が特に大きくて2裂する。茎の中部には柄のない小さな閉鎖花をつける。

【分布の状況】

市内 市内では、水田地帯で確認されている。

その他 本州、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

水湿地の減少



撮影：市域外
写真提供：石澤 進

キクモ

ゴマノハグサ科

Limnophila sessiliflora Bl.

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 —	環境省 —
-------	--------------	----------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

多年草。根茎は泥中を横走し、節から茎と匍匐枝を出す。匍匐枝は水中に沈水～抽水状態の場合に顕著に見られる。水中葉は糸状で、5～6枚が輪生する。花期は8～10月で、気中葉の葉腋に無柄で紅紫色の小さな花をつける。水中葉の葉腋にも花をつけるが、閉鎖花で開花しない。

【分布の状況】

市内 市内では、水田地帯や河川付近で確認されている。

その他 本州、四国、九州に分布する。

【減少等の原因】

農地の改変



撮影：市域内
写真提供：久原 泰雅

ウリクサ

ゴマノハグサ科

Lindernia crustacea (L.) F. V. Muell.

カテゴリー	新潟市 準絶滅危惧	新潟県 —	環境省 —
-------	--------------	----------	----------

【選定理由】

減少

【形態など】

一年草。草丈は7～18cm。葉は対生し、広卵形で、長さは1～2cm、粗い鋸歯がある。花期は8～10月で、上部の枝から細い柄を伸ばし、淡紫色の花をつける。

【分布の状況】

市内 市内では、水田地帯や丘陵で確認されている。

その他 本州、四国、九州、沖縄県に分布する。

【減少等の原因】

農地の改変，一般開発



撮影：市域内
写真提供：石澤 進